

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 利用者・家族・行政担当者が一堂に顔を合わせ意見交換ができる機会であり、多くの関係者が定例で参加できるよう検討していただきたい。 | 運営推進会議には、多くの関係者が定例で参加できるようにする。 | より多くの関係者に運営推進会議への参加を働きかける。 | 2ヶ月 |
| 2 | 6 | 玄関への開錠への一歩として、不穏・帰宅願望のある利用者の気持ちに寄り添い、安心感を持ってもらえる支援について話し合ってはいかがか。 | 不穏・帰宅願望のある利用者の気持ちに寄り添い、安心感を持ってもらえるよう支援する。 | 安心感を与える声かけや会話、日頃からのスキンシップにより利用者様の不穏・帰宅願望の軽減につなげる。 | 1ヶ月 |
| 3 | 10 | 利用者や家族の要望は、その時々によって変化し本意を表現しにくいという実態も考慮して、身体面・環境面・経済面等の具体的項目を提示しながら意見を引き出してみたいはいかがか。 | 利用者や家族の要望を把握し、運営に反映させる。 | 面会時に身体面・環境面・経済面等の具体的項目を提示しながら意見を引き出してみる。 | 2ヶ月 |
| 4 | 23 | 高齢化・重度化している利用者に対し、視覚に働きかけメニューを利用して選択してもらったり、個別ケアを充実させて喜怒哀楽の表情を引き出す事も取り入れてみてはどうか。 | 高齢化・重度化している利用者様に対し、個別ケアを充実させて喜怒哀楽の表情を引き出す。 | 現在、口頭により食事メニューを伝えているが、視覚に働きかけた形で伝えるようにする。 | 1ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。